

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報など	
5		緊急安全確保 (市発令)
<警戒レベル4までに必ず避難>		
4		避難指示 (市発令)
3		高齢者等避難 (市発令)
2		大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1		早期注意報 (気象庁)

警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待たず、**警戒レベル4 避難指示**で全員避難をお願いします。

災害発生情報 (発生を確認したときに発令) (市発令)
・避難指示 (緊急) ・避難勧告 (市発令)
避難準備・ 高齢者等避難開始 (市発令)
大雨・洪水・ 高潮注意報 (気象庁)
早期注意情報 (気象庁)



令和元年東日本台風で被害を受けた船玉地区

鬼怒川

緊急対策 プロジェクト

サイクリングロードの整備で川とまちをつなぎ地域活性化へ

鬼怒川緊急対策プロジェクトとは

「平成27年9月関東・東北豪雨」による甚大な被害を受け、「水防災意識社会」の再構築を目指し、国や県、鬼怒川下流域の7つの市町が主体となって行われたプロジェクトです。

「関東・東北豪雨」と同程度の洪水を安全に流すために必要なハード対策と、住民の防災意識を高めるソフト対策の両面から復旧策に取り組み治水対策が行われました。平成27年12月から始まったこのプロジェクトは、新しい技術を活用するなどして、膨大な工事を約5年間でほぼ完了しました。

筑西市の被害状況

鬼怒川からの溢水で、川島地区と船玉地区を中心に、住

家被害として大規模半壊68か所、半壊3か所、床下浸水18か所、農地への被害(約253.3ha)などが発生しました。

ハード対策

決壊した堤防の本格的な復旧、筑西市から守谷市にかけて、高さや幅が足りない箇所約66kmの堤防整備や洪水時の水位を下げるため、約128万㎡の河道掘削が行われました。

ソフト対策

水防災意識を高めるため、ハザードマップの普及促進や自治体の境にこだわらずに避難する「広域避難」、豪雨時の行動を事前に計画しておく「マイ・タイムライン」作成支援などを行ってきました。今後もソフト対策は、継続し



今後の展望

沿川7市町で取り組む「鬼怒川・小貝川かわまちづくり」計画に基づいて、堤防の管理用道路などを活用したサイクリングロードを整備していく予定です。

県及び市における「自転車活用推進計画」を進めていくことで、川とまちをつないで人の交流を増やし、地域の活性化につなげる環境整備を行っていきます。

避難所7か所を先行して開設します

これからの季節、線状降水帯や大型台風による浸水、暴風などの自然災害の発生が想定されます。自然災害の発生又は発生が予測されるときは、右記の**避難所7か所**を他に先行して開設します。
※やむを得ず他の避難所を案内する場合があります。

- ①下館中学校体育館
- ②下館西中学校体育館
- ③下館南中学校体育館
- ④下館北中学校体育館
- ⑤関城中学校体育館
- ⑥明野中学校体育館
- ⑦協和中学校体育館

最新情報が届くのでおすすめです。私も使っています。



市では、ヤフー(株)と協定を締結し、「Yahoo!防災速報」を活用して防災情報の発信を行っています。ぜひご利用ください。



消防防災課 齊藤 丈男 技官

【問】 消防防災課 (本庁4階) ☎24-2132

【問】 土木課 (本庁3階) ☎20-1173